

CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.8)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)木津川市相楽台一丁目PJ	階数	地上11階
建設地	京都府木津川市相楽台1丁目4番2	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	1,052 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年11月 予定	評価の実施日	2015年3月12日
敷地面積	8,024 m ²	作成者	長谷工コーポレーション大阪エンジ
建築面積	2,995 m ²	確認日	2015年3月15日
延床面積	22,413 m ²	確認者	長谷工コーポレーション大阪エンジ



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.8 ★★★★★☆</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>★☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 100%</p> <p>②建築物の取組み 64%</p> <p>③上記+②以外の 64%</p> <p>④上記+ 64%</p> <p>(kg-CO₂/年・m²)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.1

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
Q1のスコア = 3.7	Q2のスコア = 2.9	Q3のスコア = 2.5
音環境: 2.7, 温熱環境: 4.3, 光・視環境: 3.1, 空気質環境: 4.2	機能性: 3.0, 耐用性: 3.2, 対応性: 2.4	生物環境: 2.0, まちなみ: 3.0, 地域性: 2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.8

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LR1のスコア = 4.6	LR2のスコア = 3.3	LR3のスコア = 3.4
建物の: 5.0, 自然エネ: 3.0, 設備システ: 5.0, 効率的: N.A.	水資源: 2.2, 非再生材料の: 3.3, 汚染物質: 3.4	地球温暖化への配慮: 4.6, 地域環境への配慮: 2.9, 周辺環境への配慮: 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	道路沿いに緑地を確保している。	
その他	特になし。	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
室内環境の向上を目指し、F☆☆☆☆建材を利用している。	劣化対策等級3など、耐久性に優れた建材としている。	敷地周辺に緑地を敷き、周辺地域への良好な住環境の形成に配慮した。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
省エネルギー等級4同等の断熱性を備えている。	躯体と仕上げ材が分別可能な施工方法を採用している。	周辺環境への配慮に重点を置いている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される